



ME化時代の向上訓練と技術論

昭和63年度

職業訓練大学校

職業訓練研究センター

目 次

第Ⅰ部 向上訓練の今日的課題

1 向上訓練に対する期待をどう理解するか	1
① 在職者教育訓練の必要性増大	1
② ME技術下の生産現場での作業能力構造	4
a NC機等の取り扱い、操作能力	6
b NC機と加工面の技術力	7
c ME化されていない部分に含まれる能力問題	8
③ 企業内での教育力	9
2 向上訓練の実施側から見た課題	13
① 向上訓練のさまざまなタイプ	13
a ME機器の操作法を教える向上訓練	13
b ME機器作業者のための加工技術（制御内容）向上訓練	15
c 従来型ベテランの技能をME技術の中に生かすための向上訓練	18
d 従来型技術・技能の向上訓練	21
e 各種検定準備コース	23
② 向上訓練とその研究の当面の重要課題	24
3 「NC言語族と機械言語族」～b,cタイプ向上訓練の課題～	27

第Ⅱ部 向上訓練のための技術・技能論序説

1 はじめに	34
2 生産における技術と人的能力	36
3 制御論としての技術・技能論の試み	40
① 技能的制御、すなわち作業行動に内包する制御	40

a 制御関係－「ねらいどころ」と「目安」	41
b 制御関係の一端である「ねらいどころ」	44
c 「目安」－制御するもの	47
② 機械的制御、あるいは制御論としての技術論の素描	50
a 制御の制御された動作との分化	51
b 調節と目盛り	52
c 制御されるべき様々な要素の分離と結合	52
d 技術の領域と技能の領域	53
4 おわりに	55